



白五小だより

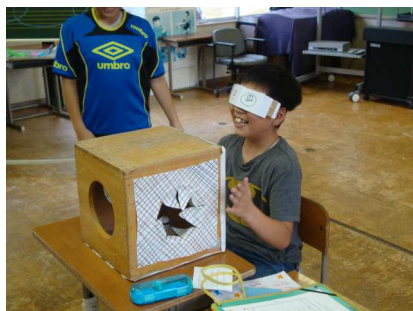
平成28年 7月12日 (火) No. 11
白河市立白河第五小学校 発行責任者 嶋 忠夫
TEL 0248-28-2004 / FAX 0248-28-2042
http://www.shirakawa.gr.fks.ed.jp/?page_id=60

楽しかったね！子ども祭り！ 第2回 土曜授業

第2回の土曜授業を7月9日(土)に実施しました。今回は、子どもたちの企画・運営による子ども祭りを保護者の皆様に参観いただきました。子ども祭りは、代表委員会を中心にして5・6年生が、みんなで楽しめるようなコーナーを考え、準備し、実行する児童会行事です。子どもたち自身が考え、話し合い、実行していく力の育成を目指しています。

「ストラックアウト」「ボーリング」「的あて」「物あてクイズ」「この人誰でしょう?」「宝さがし」など、子どもたちが考えた楽しいコーナーがいっぱいでした。5・6年生が各コーナーを担当しているので、4年生がリーダーとなって下級生をリードしていました。保護者の方々も、ゲームに参加したり、盛り上げたりしてくださいました。

とても楽しい子ども祭りに行うことができました。これまでの準備、そして当日の運営と5・6年生、よくがんばりました。また、4年生もなかよし班のリーダーとして大活躍でした。子どもたちの成長が感じられた児童会行事でした。



<物あてゲーム>



<ストラックアウト>



<この人誰でしょう?>

かけがえのない命を守るために... その1 AED・心肺蘇生法講習会

子ども祭りのあと、PTAによるAED・心肺蘇生法講習会を実施しました。赤十字救急指導員の斎須泰子様を講師に、緊急時の心肺蘇生法とAEDの使用法の実技講習会を行いました。70名を超える保護者の皆さんの参加をいただきました。万が一の時に、知っているか知らないか、体験したことがあるかそうでないかで対応の仕方が大きく変わります。その対応の仕方次第で救える命も救えなくなることもあります。とても貴重な研修を行うことができました。皆さん、真剣に取り組んでいました。今シーズンも水の事故、プールでの事故ゼロを目指し、安全第一で進めていきます。ご協力よろしくお願ひいたします。



かけがえのない命を守るために・・・その2 着衣泳を学ぶ!

12日(火)に着衣泳を行いました。白河地区着衣泳研究会着衣泳指導員の中川さん、そして白河消防署の齋藤さんと佐藤さんを講師に、万が一、服を着たまま池や川に落ちてしまったときの対処法を教えてくださいました。どうやって自分の命を守ればよいのかを考え、ペットボトルなどを使って「浮いて待つ」ことが大事であることを学びました。夏休みが近づき、水の事故が心配されます。万が一のために体験しておくことはとても重要なことです。



かけがえのない命を守るために・・・その3 校地内の徐行にご協力を!

数年前の7月に県内の小学校において、学校の駐車場でお子さんを送ってきた保護者の自動車に、登校してきた児童がひかれ、死亡するという悲しい事故が起きてしまいました。このような事故が二度と起こらないように、本校では次のことを守っていただけますようお願いいたします。

- 学校敷地内では、10km以下のスピードで走行してください。かなりのスピードで学校に入ってくる車も見かけます。学校敷地内は徐行をお願いします。
- 全席、シートベルト着用をお願いします。ランドセルを背負って助手席に座り、シートベルトができない状況も見られます。シートベルトの着用は必ずお願いします。
- 駐車場でお子さんを待っている間、小さいお子さんが駐車場で遊んでいることがあります。小さなお子さんから手を離さない、車内で待たせるなど、万が一でも事故にあわないよう注意をお願いします。

ちょっといい話・・・

子ども祭りの開会式でのこと。校長の話の中で、子どもたちに「今日は土曜日ですが、いつもどおり起きられましたか」と問いかけたところ、子どもたちは楽しみがいっぱいで、お話が止まりませんでした。子どもたちがお話をやめるのを、校長は待っていました。しかし、うきうきした気持ちがいっぱいだったので、なかなかお話がやみません。すると、6年生のさんが、下級生に向かって、「お話をやめて」と声をかけました。すると、あっという間にみんなが話をやめて静かになりました。



校長が「お話をやめましょう」というのは簡単です。自分たちで気づき、自分たちで考え、自分たちで行動する児童会の趣旨を考えると、今、話をしていいのか、だめなのかを自分で判断し、行動する力が求められます。さんは、そのことにすぐに気づき、下級生に声をかけたのです。最上級生らしい判断力と行動力に感心しました。

そのあとの子ども祭りが大成功に終わったのはご覧いただいたとおりです。最後に、4年生のさんが堂々と立派に終わりのことばを述べました。4年生としてがんばった充実感や達成感が感じられる終わりの言葉でした。

子どもたちの1学期間の成長がたくさん感じられた子ども祭りでした。